

平成 29 年 3 月 2 日

卒業式あいさつ

校 長

三月に入りましたが、まだ少し肌寒い日があるようです。本日、こうして第 38 回卒業式を迎えられことに心より感謝申し上げます。また、ご来賓の皆様にはご多忙の中ご臨席を賜り誠にありがとうございます、職員を代表いたしまして御礼申し上げます。

さらに、ご出席いただいております保護者の皆様におかれましては生徒・お子様のご卒業誠におめでとうございます。ここまで、本校の教育活動に対しましてご理解とご協力をいただき有難うございました。思春期の年頃、高校入学からこの卒業までには、さぞかし色々な事があったかと思ひます、良い思い出としながらも今少し大人になるまでは、お世話が必要かと思われるところでしょうか。

さて、卒業生の皆さん本当に卒業おめでとう。今日は少し背筋が伸びた感じでしょうか、胸を張って前を向いてくださいね。皆さんにとってのイクヒでの生活はどのようなものだったでしょうか。もうこれ以上は出来ない、もう限界だ！というくらい勉強しましたか？つい先日、ある方の講演を聞いたときにその方は学生時代アメリカの留学先で「真の勉強を知った」「脳みそから汗が出るくらい勉強した」とおっしゃっていました。いったいどのような感覚なのか私も味わったことはないですが、皆さんのこれからの未来は、いっぱい時間があります、一度くらいはそういう感覚を体験しても良いでしょう。進学先の勉強だけではなく、職場や趣味の資格に挑戦する勉強もあるでしょう、挑戦してみてください。

皆さんのこれまでの勉強・学習は暗記中心のものが多かったですか、これからは、高校を卒業したら「暗記するよりも、検索する力が必要である」と思います。暗記に時間をかけるより、いかに早く情報をとれるか、正解を探り当てる事が出来るか、そして活用の仕方に工夫が出来るかが勝負になるでしょう。多くの学者や研究家が言うように人工知能の急速な発達により職業の体系が変わっていくのです。その中で生きていかなければいけない皆さんは、自分のスキルで世の中を渡っていかなければいけないのでしょうか。「暗記する力より、検索する力です。就職する力だけでなく、転職する力も必要です。何になりたいかだけでなく、何をやりたいか。」が問われるのです。

大丈夫です、皆さんなら出来るでしょう。なぜならば、そう、皆さんはイクヒの卒業生だからです。

本校教職員は、この 38 期生を卒業式のこの日まで何とか導いてくる事が出来ました、中心になって担当した担任団は本当に良くやってくれたと思います。至らない点も多々あったかと思いますが、卒業生の皆さん・保護者の皆様、どうかこのめでたい日に免じてお許しをいただければ幸いです。

最後に卒業生へ、校訓です。これを君たちに言うのもこれが最後です。

「イクヒ生よ賢くあれ、イクヒ生よ強くあれ、イクヒ生よ正しくあれ」

卒業おめでとう！